

新しい生活様式の中での柔道！模索中！

# ☆ 平 柔 通 信 ☆

平塚柔道協会発行  
責任者 会長 奥山晴治

## 通常に向かって動き出しています！緊急事態宣言解除！

緊急事態宣言も解除され、通常どおりの稽古時間となり、稽古も段階を踏みながら前に進んでいます。10月は昇級審査と例年実施しているボランティア清掃も行われました。今後も、感染状況を見極めながら、「平柔の通常」を取り戻していきたいと思えます。今月は23日(火:祝)に平塚少年柔道大会もあります。頑張り！

ボランティア清掃実施しました。日頃お世話になっている総合公園に感謝です。

10月24日(日)、晴天に恵まれ、例年実施している総合公園のボランティア清掃を実施しました。この活動に当たっては、平塚柔道協会の活動であることが一見して分かるように、柔道着姿で実施しています。そして本来であれば、清掃終了後は場所を変えてBBQを実施するところですが、コロナ感染を考慮し、こちらの方は本年度も中止となりました。来年こそはきっとBBQが出来るといいね！



昇級審査行いました。受け身も上手になったね！早く色付き帯がほしいなあ～！

10月5日(日)、昇級審査が行われました。久々の審査(初めての子も多くいました。)ということもあり、緊張している子が多く見受けられましたが、それぞれが日頃の練習の成果を発揮しながら一生懸命に取り組んでいました。



★ コロナ感染は落ち着いていますが、手指消毒など引き続きコロナ感染防止対策を徹底願います。

(11月の予定) **火曜日・土曜日** 練習日については、おって連絡させていただきます。

今月の目標・

寝技のポイントを極めるべきところを確実に極めることに尽きる

(雑感) ~ウルフがテレビに出る理由~ 東京五輪の100キロ級金メダリストといえば、東海大出身のウルフ・アロン選手、決勝戦での見事な一本勝ちが記憶に新しい。そのウルフ選手、最近、テレビで見ない日はないというくらい、民放各局の番組に露出している。柔道選手がそんなにテレビに出過ぎていることに、筆者は最近までやや疑問を感じていたが、ある記事を読んでその考えを改めた。(以下)ウルフ選手が業界内で評価されているのは、年齢層を問わない「気は優しく力持ち」タイプのアスリートで、重量級の王者でありながら常にニコニコと笑顔を決やさない穏やかな物腰であること、ゆるキャラのような脱力感であり、制作サイドの意図を汲んでポケられるため、笑いの計算ができる存在、「バラエティに出すぎではないか」との批判の声が上がることも無理はない。しかし本人はそんな声を承知の上で、出演し続けている。ウルフ選手は本年いっぱい休養期間としている。「その期間中、柔道の競技人口やファンを増やすための活動をしていきたい。」、「柔道のイメージを変えられたら」などと発言している。3年後のパリへの道のりを逆算し、休養期間中に柔道の普及活動を行っているのだ。減少が続く日本の柔道競技人口、彼の活動に期待したい。(五)